



Integration Pack の設定

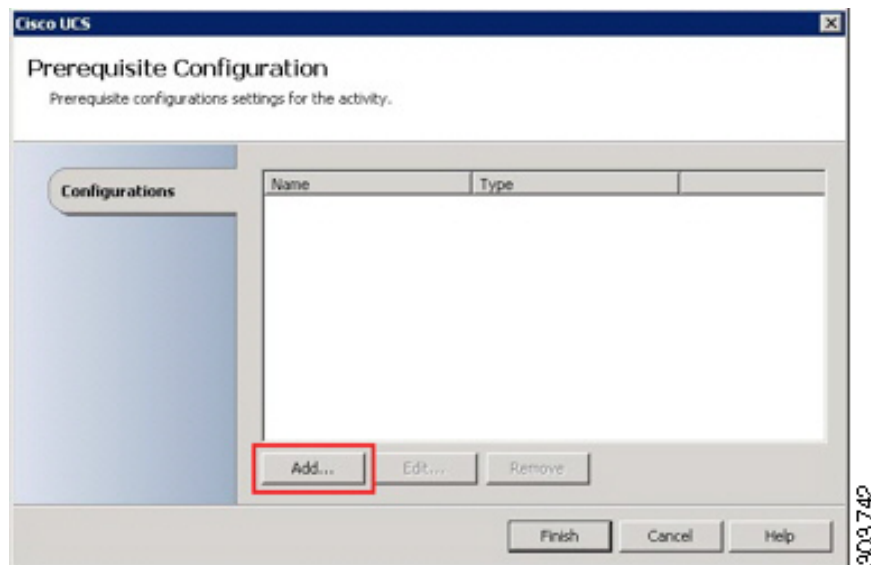
この章は、次の項で構成されています。

- 「PSModule パスの設定」(P.3-1)
- 「アクティビティプロパティの設定」(P.3-3)

PSModule パスの設定

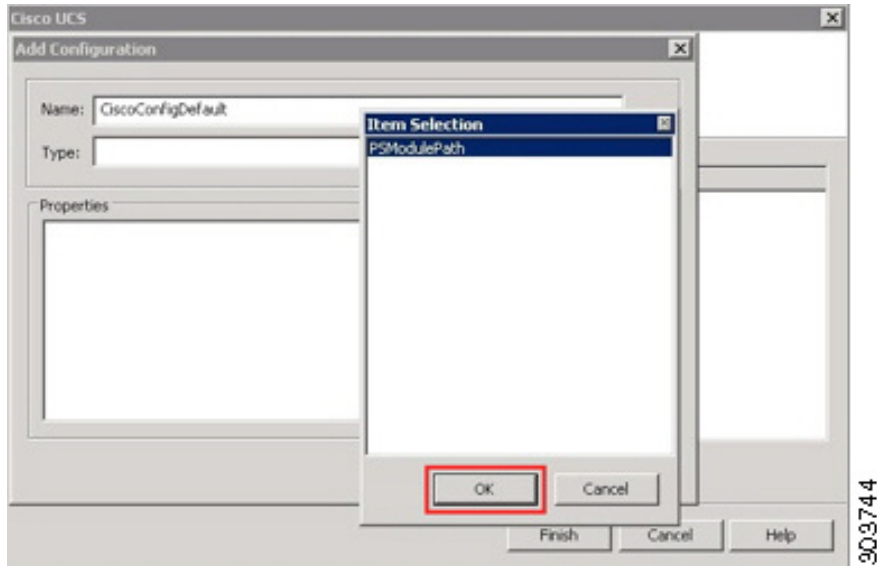
Microsoft System Centre 2012 Orchestrator と Cisco UCS PowerTool モジュール間のリンクを確立するために PSModule パスを設定できます。

- ステップ 1** SCO 2012 Runbook Designer を起動します。
- ステップ 2** [Options] > [Cisco UCS] を選択します。
- ステップ 3** [Prerequisite Configuration] ウィンドウで、[Add] をクリックしてください。



- ステップ 4** [Add Configuration] ウィンドウで、[Name] フィールドを使用して設定の名前を入力してください。省略記号 [...] ボタンをクリックして、設定タイプを指定します。

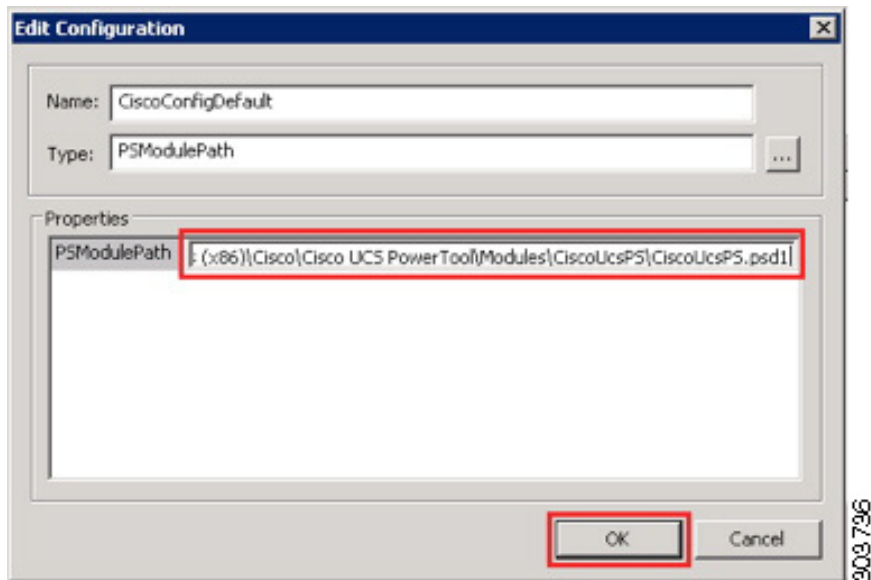
ステップ 5 [Item Selection] ウィンドウで、[PSModulePath] を選択し、[OK] をクリックします。



ステップ 6 [Edit Configuration] ウィンドウの [Properties] フィールドで、Cisco UCS PowerTool モジュールのパスを指定して [OK] をクリックします。

たとえば、C:\Program Files (x86)\Cisco\Cisco UCS PowerTool\Modules\CiscoUcsPS\CiscoUcsPS.psd1 などのパスを入力できます。

デフォルトのインストール場所を使用するには、[PSModulePath Properties] フィールドを空白のままにします。

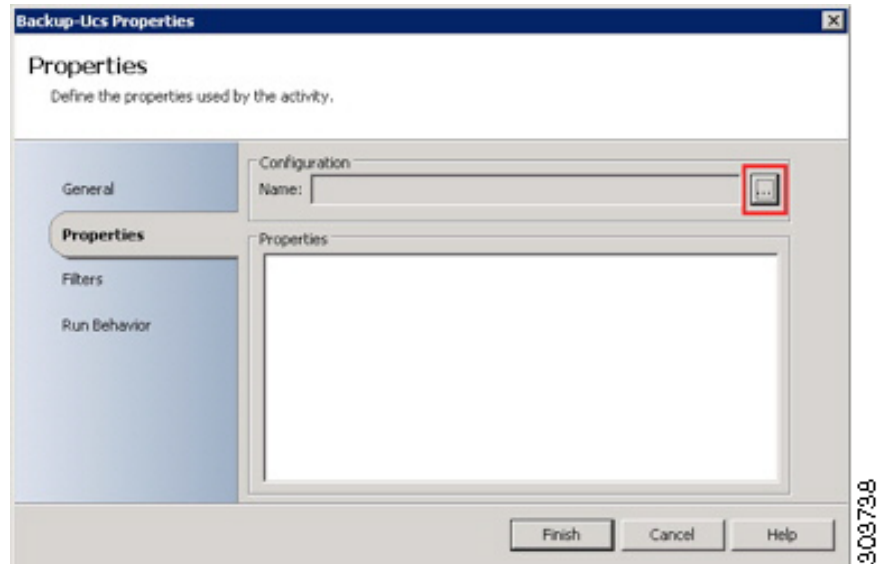


ステップ 7 [Prerequisite Configuration] ウィンドウで、[Finish] をクリックします。

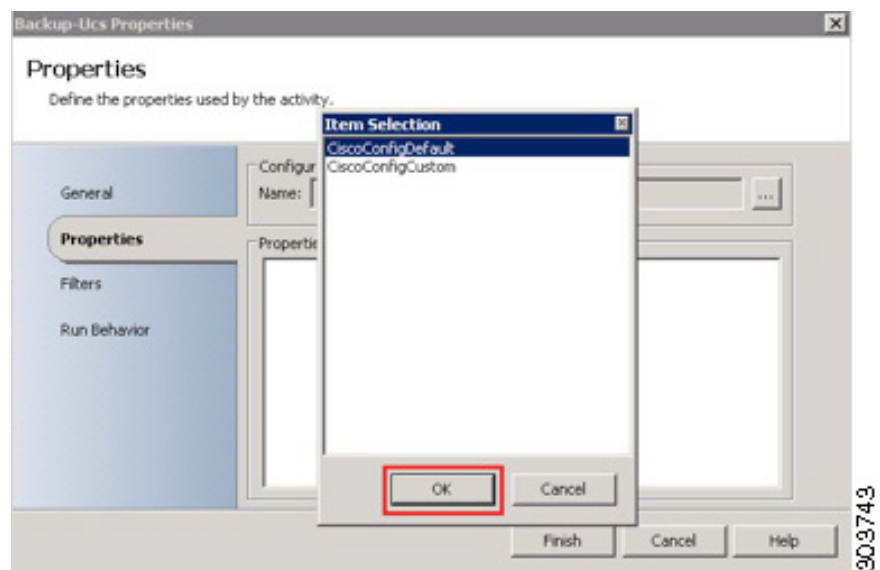
アクティビティ プロパティの設定

各 Cisco UCS アクティビティには、一連の必須またはオプションの設定プロパティがあります。プロパティはアクティビティの動作を定義します。たとえばプロパティには、他のアクティビティとの接続方法やアクティビティのアクション実行方法などがあります。

- ステップ 1** [Runbook Designer] ウィンドウで、アクティビティをダブルクリックします。
- ステップ 2** [Backup-UCS Properties] ウィンドウで、省略記号 [...] ボタンをクリックします。

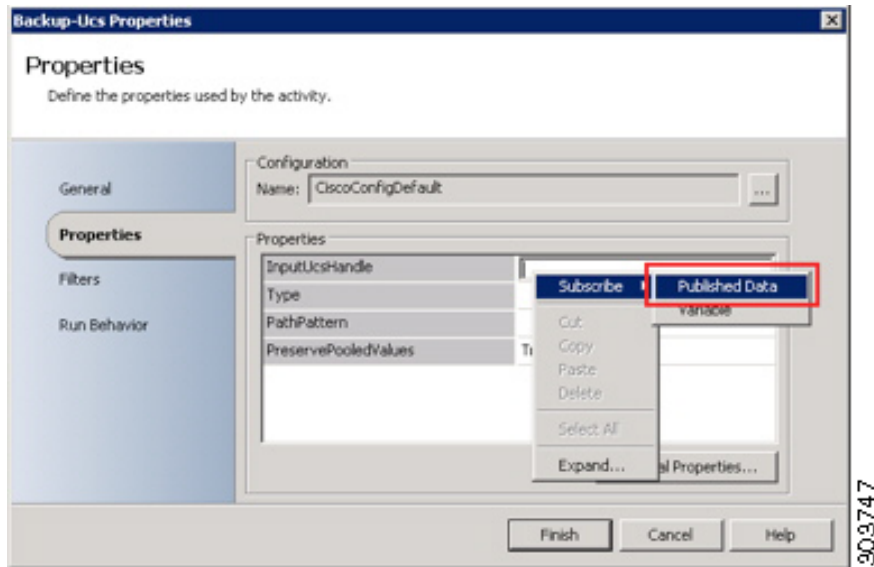


- ステップ 3** [Item Selection] ウィンドウで、設定を選択し、[OK] をクリックします。



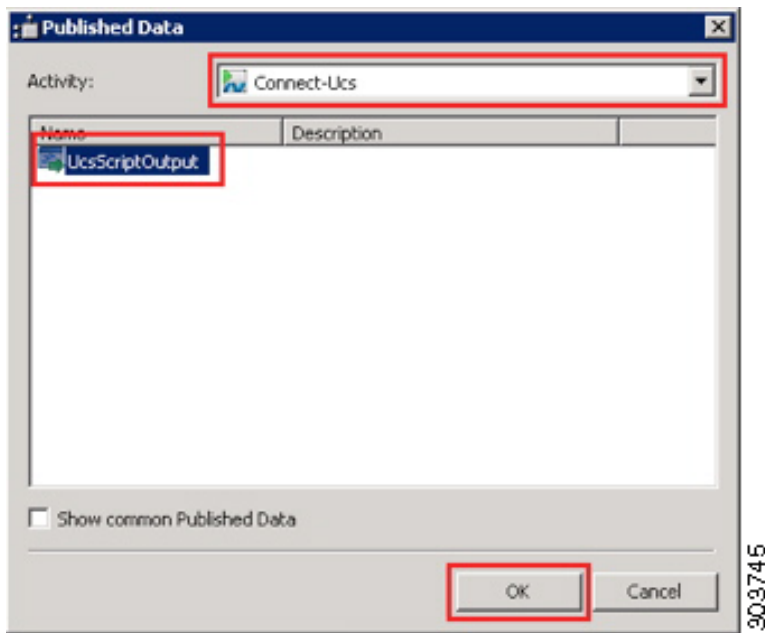
■ アクティビティ プロパティの設定

ステップ 4 [Properties] タブで [Input] フィールドを右クリックし、[Subscribe]>[Published Data] を選択します。

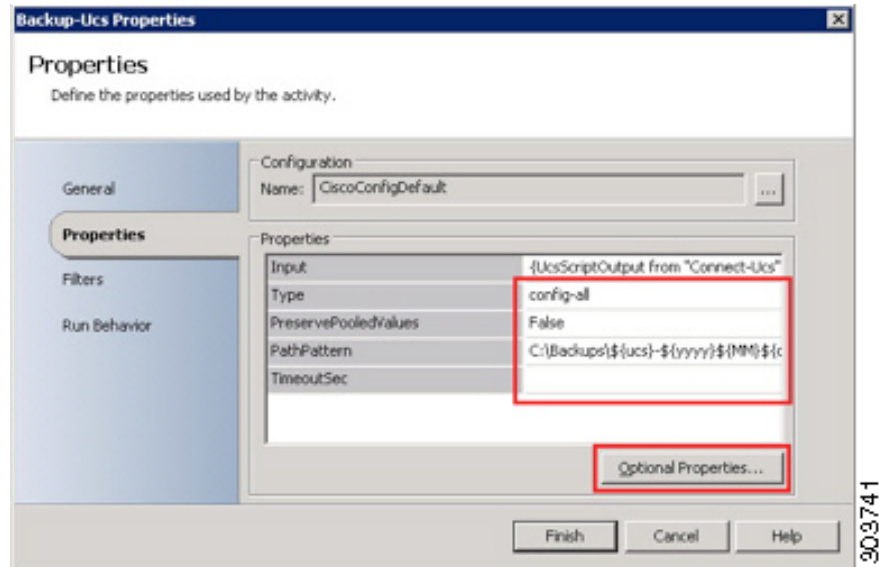


ステップ 5 [Published Data] ウィンドウの [Activity] ドロップダウン メニューから、出力データを登録したいアクティビティを選択し、[OK] をクリックします。

たとえば、[UcsScriptOutput] を選択します。



ステップ 6 [Backup-UCS Properties] ウィンドウで、他のプロパティを指定します。



ステップ 7 [Optional Properties] をクリックして、使用したいすべてのオプション プロパティを含めます。

ステップ 8 [Add/Remove Property] ウィンドウで、次の操作を行います。

- a. [Available] カラムで、追加したいプロパティを選択します。
- b. [>>] ボタンをクリックして、選択したプロパティを [Selected] カラムに移動します。
- c. [OK] をクリックします。

ステップ 9 [Finish] をクリックして、アクティビティの設定を完了します。

■ アクティビティ プロパティの設定